平成３１年度岩美中学校（地域連携）部　１学期マネジメント（案）

理想とする生徒像	年間目標	①　学年集会の際に、教員の思いを伝える。 ②　スモールステップで、子どもに任せる場面を設定する。 ③　１年間の「総合的な学習の時間」のイメージをはっきりさせる。
自分たちで企画・運営し、より良い集団を目ざし動く生徒		

目標番号	１学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	4月	5月	6月	7月
①	学年団の教員と共通理解し、年度当初の学年開きの集会で主任から思いを伝える。 実施できたか。	年度当初の学年会で、目指す生徒像への思いを学年所属教員に伝える。 年度当初の学年集会（開き）で、目指す生徒像への思いを生徒に伝える。	学年主任 学年主任	←→ ←→			
①	適宜、学年集会を開き、教員の思いを生徒に伝える。 実施できたか。	必要に応じて、合同帰り学活での学年集会など、学年集会の機会を設定する。	学年主任	←→	←→	←→	←→
②	１年生 月１回の正副室長会を開催し、現状を基に改善案などを話し合い、各クラスに返していく。 実施できたか。	月１回の正副室長会を開催し、生徒同士で課題を見つけ、改善案を出させる。	１学年主任	←→ 主体的に動けた…肯定的意見90％以上	←→	←→	←→
②	２年生 年間６つのPJを計画し、リーダー４人程度を募り、改善策を企画・実施させ、目標達成まで繰り返し行う。 実施できたか。	学力向上、キャリア教育、修学旅行、生活力向上、ボランティア、コミュ力向上の６つのPJについて４名程度のリーダーを学年から募り、目標達成に向け企画・実行・振り返りの過程を繰り返し実施させていく。	２学年主任	←→ 主体的に動けた…肯定的意見90％以上	←→	←→	←→
②	３年生 月１回の正副室長＋生徒会執行部員で会を開催し、現状を基に改善案などを話し合い、学年集会で全体に伝える。 実施できたか。	月１回の正副室長＋生徒会執行部員で会を開催し、生徒同士で課題を見つけ、改善案を出させ、合同帰り学活を開き、全体に伝えていき、改善活動を実施させる。	３学年主任 主体的に動けた…肯定的意見90％以上	←→	←→	←→	←→
③	各学年、総合を中核としたカリマネ表を拡大印刷し、各学年の階の廊下に掲示し、担当教員で適宜修正を行っていく。 修正の線が記入される。	カリマネ表を各階に掲示し、教員が総合と自身の教科のつながりを意識し、適宜、変更を加える。 総合の見通しを持てるように、生徒の目にふれる場所にカリマネ表を掲示する。	黒岩 全職員 黒岩	←→	←→	←→	←→
③	３年生の総合のテーマとして、「志を基に考え、１，２年に向け（または岩美中生として）自分に何ができるか」を考え、実践する課題を設定する。 ３年生の総合に位置付ける。	３年生の総合のテーマとして、「３年間総合で学んできたことを活かし、志を基に考え、１，２年生に向け（または、岩美中生として）今何ができるか」を考え、実践し、体感できる学びを課題として設定する。	地域連携部員			←→	←→